

縄文のうた

松原 道子（茅野市）

むかし、むかし、ハヶ岳のふもとに

ひとは、住み始めた。

栗などの木の実を取り、すりつぶして、

だんご状にし、火をおこし、焼いたり、煮たり。

神様は、火をひとにあたえた。

木を育てた。

神様は、雨を降らせ、水を作り、川も作った。

神様は、お日様もつくった。

大地、ハヶ岳の大地。古代から続く。

はてしない大地。

水、火、地、お日様、お月様。

同じ一つの星に生まれた。

人も、生まれる。

優しいひと。うれしいひと。

ほがらかなひと。やすらぎを教えるひと。

そんなひとに守られて 皆んな生きてる。

社会は、ひとが作る。

代々、受け継がれて。

明るい未来を作ろう。

ハヶ岳のふもとに集え～。